



岐阜北週報

10月 経済と地域社会の発展月間・米山月間

<input type="checkbox"/> 題字	永瀬 章	<input type="checkbox"/> 会長	永瀬 章	
<input type="checkbox"/> 例会	毎週水曜	<input type="checkbox"/> 副会長	前田 吉彦	2017-2018
<input type="checkbox"/> 会場	岐阜都ホテル	<input type="checkbox"/> 幹事	西垣 康紀	No.1693
		会報委員長	安藤 重広	17.10.11発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1692 回 例会 10/4 (水) 慶祝行事・クラブフォーラム (4)	第 1693 回 例会 10/11 (水) 夜間例会	第 1694 回 例会 10/18 (水) クラブアッセンブリー (4) 地区大会の報告
担当：米山奨学委員会	担当：会長・幹事・会員増強委員会	担当：会長・幹事

会長挨拶



久しぶりに都ホテルでの例会です。9月10月は例会変更が多いです。先週も合同例会でした。9月30日に氷見クラブとの姉妹提携30周年の記念すべき調印でした。提携30年の歴史を感じました。氷見クラブが来年度創立50周年を迎えるそうです。皆さんそろってお越しくださいとのことでした。

また次回10月11日の例会は、会員増強委員会の担当による夜間例会です。是非、入会見込み者をお誘いして参加ください。

ロータリー地区大会が来る10月14・15日に伊賀上野市で開催されます。50%の登録はされていますが、皆さん登録者全員の出席をお願いいたします。

最後になりましたが、今月は米山月間です。本日は米山奨学委員会の担当のクラブフォーラムです、今日は地区から岐阜東クラブの長谷川隆志委員と世話クラブが土岐ロータリークラブ

会長挨拶 続き

の米山奨学生の王 溯楠 (ワンスナン) 君に参加していただいています。後半の部分でお話を頂きます。

出席報告

会員数：31名
出席数：25/31名
出席率：80.65%
欠席者：6名 (出席免除3名 89.29%)

訪問者

■ 岐阜東ロータリークラブ
米山地区委員 長谷川 隆志 様
米山奨学生 王 溯楠 様

慶祝行事

- 会員誕生日のお祝い
 - 10月6日 川島 明雄 様
 - 10月13日 片桐 順一郎 様
- ご夫人誕生日のお祝い
 - 10月2日 岡田 広子 様
 - 10月2日 小森 京子 様
- 結婚記念日のお祝い
 - 10月21日 若山 和正 様
 - 10月22日 波多野 光裕 様

ニコニコBOX (敬称略)

米山地区委員

長谷川 隆志：今日は米山卓話にお呼びいただきありがとうございます。

片桐 順一郎：米山奨学の長谷川様をお迎えします。

川崎 賢二：長谷川さん、岐阜北RCへようこそ。

林 隆行：氷見合同例会への参加ありがとうございました。

安藤 重広：氷見合同例会、親睦交流委員の方お疲れ様。

小森 保敏：家内の誕生日を祝っていただいて。

森本 時夫：欠席が多くて申しわけありません。

小島 正三：今日も元気で。

長野 鉄司：今日も元気で。

委員会・同好会報告 (敬称略)

■ 社会奉仕委員会 小森 保敏

10月28日(土)の若松学園祭の日用品バザーの協力を10月28日と25日の例会で受け付けますので、宜しくご協力をお願いします。

■ 青少年奉仕委員会 榊原 典夫

岐阜北RCカップの決勝戦を10月9日午前8時30分から西部体育館で行うので、多数の参加をお願いします。

■ 会員増強委員会 谷口 育子

10月11日(水)に会員増強のための??例会を??に行うので、入会希望者をつれてきて下さい。

幹事報告事項

■ 本日は定例理事会です。

卓話 ワンスナン 様

1. 自己紹介、日本を選んだ理由(来てみてどうだったか)

みなさん、こんにちは、私はワンスナンと申します。中国から参った留学生です。今南山大学の総合政策学部で留学しております。

私の故郷は南通で、南通は上海の東南方面にあります。南通は海に近くて、おいしいシーフードがたくさんあります。そして、南通という地域は大きくなくても、環境はよくて、自然資源が豊富だと感じられます。私の家族が3人で、兄弟姉妹がいないです。さらに、昔では両親は

卓話 (続き)

毎日忙しくて、仕事して遅くまで家に帰るので、私が1人遊ぶ場合が多かったです。年齢の増加に伴って、高校時代が終わったとき、どんな大学に進学すればいいかという悩みが出ました。その時、私が日本に留学経験がある先輩を知っているので、日本のことを聞くチャンスがありました。先輩は日本人が勤勉で、礼儀正しいといいました。また、先輩は元々南山大学の総合政策学部で留学したことがあり、そこで多くの分野について研究することができ、さらに私が興味を持っている「国際経済・貿易」という分野があると言いました。私が日本人の精神力を身に着けようと思っており、将来日本と中国の貿易がより発展することを願っているので、日本に留学することを決めました。

日本に来てから、もう3年ぐらいです。3年前の私が、日本語も上手に話せないし、外国人の友達もできていないし、初めて日本に来た私にとって、生活は大変でした。知らないうちに、もう4年生になりました。この3年間でいろいろなことを経験し、多くの知識を学んできて、充実的な留学生生活を過ごしてきたと思っています。また、日本での生活を思い出して、最も印象が深いのは日本語を勉強するときの生活です。その時には、学部の授業がいくつか取っており、また日本語クラスからの宿題やレポートなども多くて、生活が忙しかったが、自分が高校3年生の時と同じような勤勉さで勉強してきたと思っています。日本語能力の向上に伴い、日本人の友達ができたし、スーパーの店員さん、また病院中の医者さんとも話せるようになりました。時々、日本に来る前に先輩が教えてくれた日本のことを思い出して、「この話は本当だ」、「あれ、ちょっと違うな」と思ったりすることがあったが、困ったときに周りの友達に手を貸してもらい、日本の生活がだいぶ慣れてきました。つまり、私にとって、日本語といった新しい言語によって、自分の視野が広がり、生活にも徐々に慣れてきたと思います。

実際に、3年間の学生生活は日本語の勉強だけではなく、日本文化の理解も大事だと考えています。そのため、先輩、友達とともにいろいろな観光地に行って、中国と全く違う風景を見ました。例えば、京都の金閣寺と嵐山、大阪の心斎橋、東京のスカイツリーなどです。また、私が料理を作ることが好きなので、有名な観光地に行ったら、そちらの人気の食べ物を食べるのが一番楽しいことです。それらの思い出は今まで頭の中に残っており、「まだ行ったことがないところに行けば、幸せなことだなあ」

卓話（続き）

と考えています。

2. 大学の研究内容

南山大学の学生になってから、様々な授業を選択することができるようになりました。そのうち、環境政策、国際政策、公共政策という3つの大きな分野があります。さらに、この3つの分野を巡って、様々な授業が作られています。私はこの3年間で「生命と環境」、「異文化との出会い」、「国際政治経済論」などの授業を取ったことがあります。最初には自分が日本人とともに学部の授業を受けていたが、日本語力が十分ではなかったため、授業の内容を理解することが非常に難しいと思いました。そのため、学部の授業を受けるとともに、日本語の授業も受けはじめました。その日本語の授業は表現、読解、総合という3つの分野に分けられ、日本語の文法及び日本の文化などを学んできました。知らないうちに、日本語は上手に話せるようになり、文化の多様性も徐々に理解してきました。また、大学の3年生になってから、環境政策、国際政策、公共政策というそれぞれの分野に対し、1つ興味がある分野を選択しなければなりません。私は「国際経済・貿易」といった専門分野に興味があるので、このゼミを選びました。ゼミに入って、日本語クラスと全然違う感じだと思います。ゼミでは、日本人と一緒に交流し、研究テーマに対して分析します。それは、留学生としての私にとって、さらに大きな挑戦だと思っています。しかし、その前の不安や緊張がなくなりました。日本人のクラスメートが非常に優しく、私が困ったとき彼らはいつも助けてくれたので、自分の心の緊張や不安などもだんだん解消しました。今、ゼミのみんなが2つのグループに分かれ、別々の研究テーマを持っており、ISFJという論文大会の準備に関して努力しています。私がいるグループは「大学における奨学金制度の改革—受給・返還条件を中心に」について書きました。私たちはテーマに沿って、今の日本の奨学金制度は改善しようかと思って、オーストラリアの所得連動型方式という累進性を日本に導入すれば、効果は著しいかどうかを検証しています。また、ゼミの先生の指導に従って、それぞれの人々がテーマに関する役割をもらい、最後の発表まで自分の役割に対し一生懸命頑張っています。私にとって知らないうちに、自分の進歩が感じられ、さらに重要なのは、ゼミでの鍛えによって、広い視野を身に着けることができました。それは、国内の大学で得られないものだと考えており、人生

卓話（続き）

として非常に貴重な経験だと思っています。

3. 将来の夢

私は南山大学を卒業した後で、アメリカの大学院に入るつもりです。そして、専攻はどれにするかを悩んでいるので、具体的にどんな大学のどんな専攻かはまだ決めていません。もともと日本の大学院を卒業し、中国に戻って就職したいですが、今まで自分で学んできた知識はまだ足りず、より専門的な知識を研究したいと思っているので、アメリカに留学したいです。また、英語は非常に重要だと思うので、英語をうまく話せるようになれば、いいのではないかと考えています。さらに、私にとって、美しい世界を見るのは一番いい事だと思っており、アメリカに留学することを考えています。そうすると、自分の視野がより広がり、考え方や観点なども変わるかもしれません。しかし、アメリカの入試は難しく、お金と時間もかなりかかるはずで、私は人生に悔いが残りにくくないので、必ず頑張っていきたいと思っています。

そして、大学院を卒業して、日本に関する企業で仕事しようと思っています。日本で学んだことを生かし、日本と中国の貿易関係をより強固なものにするために、両国の架け橋になりたいと思います。その目標を実現するため、今自分で経験したこと、観察したことを大切に、自分が生まれ育った中国と日本を比較し、日本の良い点を見つけることで、中国に存在している問題の解決に尽力したいと思っています。

4. ロータリーとのかかわり

今年の4月から、私の留學生活より変わってきたと思います。なぜなら、私がロータリー米山奨学生の一員になったからです。奨学金をもらっている私は生活がさらに良くなり、委員会の人たち、またカウンセラーさんから様々なお世話になって、自分の交流の場がより大きくなりました。私は今ロータリー米山奨学金を持っているので、好きな本を多く買って、また学費の負担も減りました。さらに、自分が料理を作るのが好きなので、いつも勉強の時間以外に、野菜、肉などを買って中華料理を作ります。

その一方、毎月の例会の時に、カウンセラーさんが優しく、いつも車で私を待っています。私が駅に着いてから、彼が私を連れて一緒に例会に参加に行きます。そして、私が困ったときには、カウンセラーさんが優しく助けてくれます。さらに、最も印象が深いのは、今年の夏休みにカウンセラーさんが私を連れて、土岐クラ

卓話（続き）

ブの人たちとともに犬山城を見に行き、長良川の鵜飼活動に参加に行きました。夜の時、みんなが船に乗っており、食事をしながら花火を見ていました。その日に私が多くの人と交流し、日本文化の理解はさらに深くなり、非常に嬉しかったと思います。

つまり、ロータリー米山奨学金によって、私の生活は豊かになっており、食の質も高まり、多くのクラブの優秀な人もできました。彼らとカウンセラーさんは色々助けてくれて、本当に感謝します。また、将来自分が努力する道で、成功できるかどうか、奨学生として今と同じ目標を目指して、頑張っていきたいと思います。さらに、将来両国の貿易がより一層発展させるために、前述した計画に沿って、勉強に励んでいきたいと思っています。

以上で私の発表を終わります。ご清聴ありがとうございます。

例会風景

岐阜北ロータリー・カップ2017
5. 6年生決勝大会 結果報告

6年生の部

■ Aゾーン

七郷 2-0 方県
七郷 2-0 岩野田
方県 2-0 岩野田

■ Bゾーン

黒野 0-2 常盤
黒野 0-2 岩野田北
常盤 0-2 岩野田北

■ 決勝

七郷 0-2 岩野田北

★優勝 岩野田北
★準優勝 七郷
★第3位 方県・常盤
★敢闘賞 岩野田・黒野

5年生の部

■ Aゾーン

常盤 1-2 綱代
三輪南 2-0 黒野
常盤 2-1 鷺山
綱代 1-2 三輪南
黒野 2-1 鷺山

■ 決勝

三輪南 0-2 常盤

★優勝 常盤
★準優勝 三輪南
★第3位 綱代
★敢闘賞 黒野・鷺山

例会風景



岐阜北ロータリー・カップ2017
5. 6年生決勝大会 写真



次回例会のご案内

第1694回 例会 10月18日(水)
クラブアッセンブリー(4)
地区大会の報告
担当者: 会長・幹事

会報・広報 10月担当 小椋 功